

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 5年 3月 10日

事業所名: モンキーポッド

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			活動に合ったスペースを確保し、運動遊びではのびのびと身体を動かせるように環境を整えていきます。
	2 職員配置数は適切であるか	6			子どもたちに一対一で関われるように体制を整えています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6			視覚的に余分な情報は減らし、スケジュール表や話している職員を見て始まるの会や帰りの回が始められるようにしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6			常に生活が保てるように心がけています。運動遊びでは怪我防止に努め、安全に活動できるスペースを整えています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ずしも振り返りができているわけではない。一部の職員ではできていたり、全員で参画できる時間が少しずつ取れてきている。</li> <li>・振り返りをする時間はあるが、支援方法を改善する話し合いができていない時がある。</li> <li>・勤務時間が異なる為、全員参加は難しい。個人での連絡になる。</li> <li>・振り返りの為の職員間の話し合いができる時間を増やせたらいいと思います。</li> </ul>	勤務時間が職員によって異なる為、全員参加での振り返りを行うことは難しい状況ですが、隙間時間を見つけてその日の活動内容や連絡事項を共有しています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			アンケートにていただいたご要望やご意見にしましては、順次対応できるようにさせていただきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1		ホームページにて公開しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6			今年度は児童発達支援センターこぐま園さんの職員の方々に療育の様子を見ていただき、アドバイスをいただきました。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修をする機会は増えた。</li> <li>・回数は少ないが、研修の機会は設けている。</li> <li>・非常勤の職員も含め、研修の機会が増えたらいいと思います。</li> </ul>	職員の知識や療育の質の向上に向け、研修が行えるように努めて参ります。
10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6			保護者様との面談を定期的に行い、お子様の様子と保護者様のニーズ、課題点に応じた支援計画が作成できるように努めています。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			事業所独自のアセスメントツールを使用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		不十分な所もあるが、保護者様のニーズに答えられるように努めている。	具体的な活動内容や支援の仕方を記載できるように努めて参ります。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6			担当職員は支援計画に必ず目を通し、支援内容を把握したうえで、療育が行えるようにしています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			一日の活動内容を職員と話し合い、活動内容や支援のポイントを話し合って決めています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			週ごとに運動遊び、微細遊びを設定し、活動内容が固定化させないように努めています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	6		様子に応じて部屋を分け、活動を設定している。	個別で取り組む活動や集団で取り組む活動を交互に行い、お子様の様子に応じて活動内容を設定しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			お子様が来所されるまでに、職員間でその日の活動内容を確認しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>必ずしも振り返りができているわけではない。</li> <li>療育終了後に片付け、記録の業務をしていると、振り替りの時間がなく、その日に出来ないことが多い。</li> <li>送迎があり、できないことがある。</li> <li>日々振り返りを行っているが、勤務時間が異なる為、参加できない職員もいる。</li> <li>療育終了後には時間的に難しいことが多いので、後日になることが多い。</li> <li>振り返りの時間が無い。曜日固定での勤務の為、分からない部分がある。</li> </ul>	職員によって勤務が異なる為、支援終了後に職員全員で振り返りをするのが難しい為、翌日や別日に振り返りの時間を設けています。勤務時間が合う職員間では、その日に振り返りをする時間を設けています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			日々の活動の様子は記録に残し、気付いたこと、課題点を次回の利用日までに改善できるようにしています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6			定期的にモニタリング(支援内容の振り返り)を行っています。
	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	6			児童発達支援管理責任者が参画しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	4		子ども家庭支援課の方と連携をとっています。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				現在医療的ケアが必要なお子様は在籍しておりません。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				現在医療的ケアが必要なお子様は在籍しておりません。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1	・電話での連絡や当事業所に通園先の先生方に訪問してもらい、情報共有をしている。 ・全ての通園先にはできていない。	今年度は通園先の先生方にモンキーポッドでの様子を見に来ていただく機会がありました。来年度はモンキーポッドの職員が通園先に伺い、情報交換が出来ればと考えています。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1	今年度から卒園児がおられるので、移行支援シートを作成している。	卒園児さんや引っ越しされ、他の事業所に通われる方には、支援内容の引継ぎを兼ねた移行支援シートを作成しています。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			今年度は児童発達支援センターこぐま園さんの職員の方々に助言をいただきました。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2	夏季限定で、系列の小規模保育園の子どもたちと水遊びをする機会を設けている。	限られた時間のみの実施になりますが、夏季に系列の小規模保育園の子どもたちと水遊びをして交流する機会を設けています。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	2		参加しています。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1		送迎時にお子様の様子や課題についてお伝えしています。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	2	・相談支援はしているが、プログラムとして実施していない。保護者様のニーズに合わせた支援をしていきたい。 ・ペアレント・トレーニングは出来ていないが、保護者様の相談にその都度のついでにしています。 ・全ての保護者様にはできていないと思います。	ペアレントトレーニングは実施できておりません。面談時や送迎時の際に困り事やご要望を聞き、ご家庭でも実践出来ることがあれば、アドバイスをさせていただいています。
	保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		6			個別支援計画を更新の際は、支援内容を説明し、保護者様の同意を得ています。
34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		6			ご相談があれば、その都度面談の機会を設けています。具体的なアドバイスができるように今後も努めてまいります。
35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			6		現在実施できておりません。保護者様からのご要望を多くいただきましたので、今後保護者様同士の交流の場が作れるように前向きに検討していきます。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者様への説明責任等	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			迅速に対応できるように努めています。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	定期的ではないが、伝達事項がある際にお便りを発行しています。	SNSで日々の様子を掲載していません。部数は少ないですが、行事やお知らせ事項があればお便りにて、お知らせしています。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	1	注意はしているが、保護者様との話の中で、同じ時間に来所されているお子様の実名を出してしまうことがある。	SNSに写真を掲載する際や保護者様とお話のなかで、他のお子様を特定するような情報が出ないように気をつけています。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			絵カードやベビーサイン、実物提示等でお子様に合わせて視覚支援を行っています。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6		現在実施しておりません。
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6			マニュアルを作成し、定期的に訓練を行っています。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			月に1回避難訓練を行っています。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6			見学時に聞き取りを行い、服薬や症状について確認させていただいています。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		アレルギーがあるお子様の把握はしています。当事業所では食事提供をしていません。ご家庭からの食べ物の持ち込みはご遠慮させていただいています。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			全職員に共有しています。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			職員研修を年に2回実施しています。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	1	5	現在利用者の方で、身体拘束が必要な場面はない。	現在身体拘束を必要とするお子様は在籍しておりませんが、どの様な対応が身体拘束に繋がるのかについて、職員で話し合う場を設けようと考えています。